

安全
安心

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保！
(飯根沢砂防えん堤(西会津町))



【before】被災前(平成29年5月撮影)

【after】堆積状況(令和4年8月)



堰堤側面より撮影



堰堤側面より撮影



堰堤上流側より撮影



堰堤上流側より撮影

R4.8の豪雨災害時の
堆砂位置



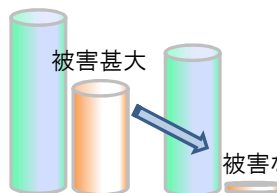
下流保全人家

平成7年8月には、大規模な土石流
が発生。下流の人家に甚大な被害を
もたらした



【効果】令和4年8月の豪雨災害による被害なし！

稲荷峠観測所
降雨量
平成7年
8月1～4日
354mm



寺内観測所※
降雨量
令和4年
8月3～4日
268mm

※稲荷峠観測所が平成21年で廃止となったため、
近隣の寺内観測所を採用

砂防えん堤整備により、
下流への土砂流出は
なく、**被害ゼロ！**

安全
安心

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保！
(後沢川砂防えん堤(二本松市))



後沢川砂防堰堤

【before】被災直後(平成25年8月集中豪雨)

【after】整備状況(平成29年9月)



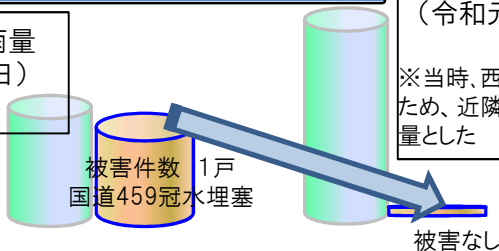
【効果】令和元年東日本台風による被害なし！

西谷観測所(県)降雨量
(平成25年8月5~6日)
83mm

二本松観測所(県)降雨量※
(令和元年10月12~13日)
212mm

※当時、西谷観測所が欠測となったため、近隣の二本松観測所の降雨量とした

平成25年の被災時と比べ、**降雨量は倍以上**だったが、砂防えん堤の整備により下流への土砂流出はなく、**被害ゼロ**！



安全
安心

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保！
(急傾斜地崩壊対策 中ノ内地区(伊達市))



【before】被災直後(平成27年9月集中豪雨)



被災状況
(人家一部損壊)

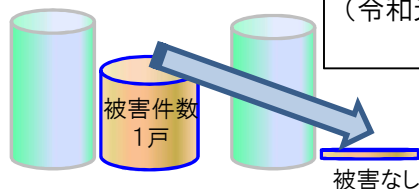
【after】整備状況(平成29年8月)



【効果】令和元年東日本台風による被害なし！

舟生観測所(県)降雨量
(平成27年9月6~11日)
320mm

舟生観測所(県)降雨量
(令和元年10月12~13日)
300mm



平成27年と比べ同規模の
降雨量だったにもかかわらず、法面对策工を実施した結果、土砂災害の発生なし！

安全
安心

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保！
(地すべり対策施設 下川前地区(北塩原村))



集水井工

【before】被災直後(平成3年8月)

【after】整備状況(平成31年3月)



村道(避難路)



横ボーリング
(斜面に穴を掘り地下水を排除)



地すべりの影響で電柱や
立木が傾いています



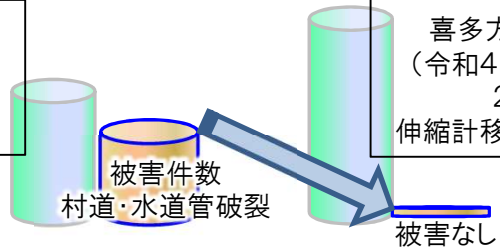
保全対象(人家・国道459号)

集水井(地下水を集める井戸)

【効果】被災時と同規模の雨が降っても被害なし！

喜多方観測所降雨量
(平成10年8月12日)
149mm
伸縮計移動量 3mm

喜多方観測所降雨量
(令和4年8月3~4日)
278mm
伸縮計移動量 1mm以下



平成10年と比べ2倍程度の
雨が降ったにもかかわらず、
地すべり対策の実施により
被害ゼロ！

※工事が完了した平成28年度
以降は伸縮計移動量 無し

安全
安心

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保！
(湯上沢砂防えん堤(喜多方市))



湯上沢砂防堰堤

【before】被災直後(平成10年8月豪雨)



湯上沢山腹荒廃、
土砂・流木堆積状況

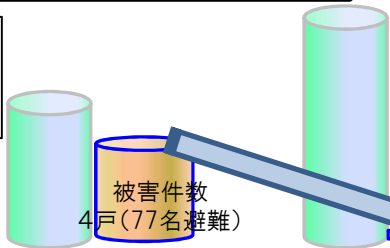
保全人家(熱塩温泉街)周辺



国道熱塩温泉追分線 冠水

【効果】令和4年8月豪雨による被害なし！

喜多方観測所降雨量
(平成25年7月22日)
141mm



【after】整備状況(平成31年3月)



湯上沢砂防えん堤

保全人家



保全人家

喜多方観測所降雨量
(令和4年8月3~4日)
278mm

平成25年と比べ降雨量は2倍程度であるが、砂防えん堤整備により、下流への土砂流出はなく、**被害ゼロ!**

安全
安心

土砂災害から命や財産を守り、
地域の安全・安心を確保！

(二軒在家沢砂防えん堤(只見町))



二軒在家沢砂防えん堤

【before】被災直後(平成23年7月新潟・福島豪雨)

【after】整備状況(平成31年3月)



山腹荒廃状況



被災状況

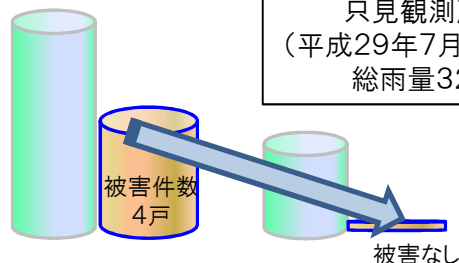


【after】現在の状況(令和2年11月)



【効果】平成29年7月の豪雨による被害なし！

只見観測所降雨量
(平成23年7月27日～
平成23年7月30日)
総雨量711mm



只見観測所降雨量
(平成29年7月16～18日)
総雨量328mm

平成23年と比べ降雨量は
半分程度であるが、若干の
土砂流出は確認されたもの
の、砂防えん堤整備により、
下流への土砂の流出はなく、
被害ゼロ！